

## 昭和46年(1971年)

11月1日多摩市スタート  
初市議会開く

初市議会は、市長からの「市制宣言」の後、2つの条例案を可決し閉会。



初市議会

## 昭和47年(1972年)

昭和47年度予算  
総額43億727万円

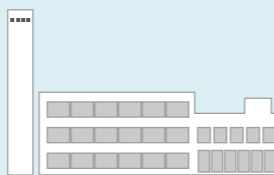
市民センターの建設などが決まり、一般会計予算は前年度当初より82.2%増の39億7,300万円にのぼった。



## 昭和48年(1973年)

多摩ニュータウン  
清掃工場管理運営  
に同意

多摩ニュータウン清掃工場の管理運営を当分の間多摩市が引き受けることについて同意。



清掃工場

## 昭和49年(1974年)

市民プール条例を可決

市民の健康と水に親しむ機会を持てるようにするという目的から、市民プールがつけられた。



昭和49年7月にオープンした市民プール

## 昭和50年(1975年)

4 常任委員会となる

総務常任委員会 8人  
厚生産業常任委員会 8人  
建設常任委員会 7人  
文教常任委員会 7人

## 昭和51年(1976年)

翌年春の開校に向け、和田中学校、南貝取小学校の新築工事請負契約議案を可決。



和田中学校



南貝取小学校

## 昭和52年(1977年)

社会教育の振興に社会教育施設建設  
基金条例を新設

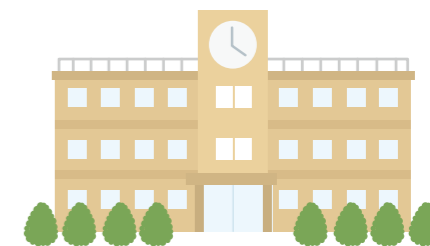
ハケ岳の青少年自然の家をはじめ、地区体育館、郷土資料館、図書館、公民館等の建設を計画的に進めるための社会教育施設建設基金条例は、新設にあたり2億円を積み立てる補正予算が生まれ、さまざま視点から疑問点が質された。最終的に補正予算と基金条例は可決された。

## 昭和53年(1978年)

昭和53年度予算総額156億4,169万円

一般会計予算は前年度当初より40.5%の伸びを示した。

児童・生徒の急増により義務教育施設の拡充整備が急務となったことなどから、教育費予算が一般会計歳出予算の30.2%を占め、歳出のトップとなった。



昭和46年  
(1971年)

昭和47年  
(1972年)

昭和48年  
(1973年)

昭和49年  
(1974年)

昭和50年  
(1975年)

昭和51年  
(1976年)

昭和52年  
(1977年)

昭和53年  
(1978年)

環境庁が発足  
マクドナルド  
銀座1号店開店  
横綱大鵬が引退

札幌冬季五輪  
グアムで元日本兵  
(横井庄一さん)発見  
あさま山荘事件  
沖縄が日本に復帰  
日中国交正常化、  
パンダ(カンカン・ランラン)来日  
山陽新幹線開通  
ミュンヘン五輪

金大中氏拉致事件  
巨人9連覇達成  
第1次オイルショック

小野田寛郎さんルパン  
島から帰還  
巨人の長嶋茂雄選手  
現役引退  
佐藤元首相が  
ノーベル平和賞受賞

ベトナム戦争終結  
山陽新幹線、  
岡山一博多間開業  
3億円事件時効  
エリザベス女王来日

ロッキード事件  
鹿児島で五つ子誕生  
およげ!たいやきくん、  
ゲイラカイトが流行  
モンテリオール五輪

日本初の静止衛星  
打ち上げ成功  
巨人の王貞治選手、  
756号本塁打世界新記録  
カラオケ、スーパーカー  
が流行

新東京国際空港  
(成田国際空港)が開港  
世界初の体外受精児誕生  
サンシャイン60開業  
宮城県沖地震  
ディスコ、  
サーファールックが流行

